

富山県住まい・まちづくり計画 見直しの方向性について

令和8年8月5日
富山県土木部建築住宅課

計画見直しの方向性について

- ・本県の住生活を取り巻く社会情勢、全国住生活基本計画の見直しの内容を考慮し、計画内容を見直す

計画の理念

- ・持続可能な住まい・まちづくりによる、県民の暮らし・住まいのウェルビーイングの向上を目指す。
- ・住まいやまちが、富山県の資産となるよう良好な住環境の実現を目指す。
⇒計画の理念は、前回計画と同様に
「安全で心豊かな住まいと 美しいまちを目指して」
とする。

計画の基本的な方針

住まい・まちづくりの将来への持続性を重視する
他分野との連携や、行政・民間事業者の横断的な取り組みを行う

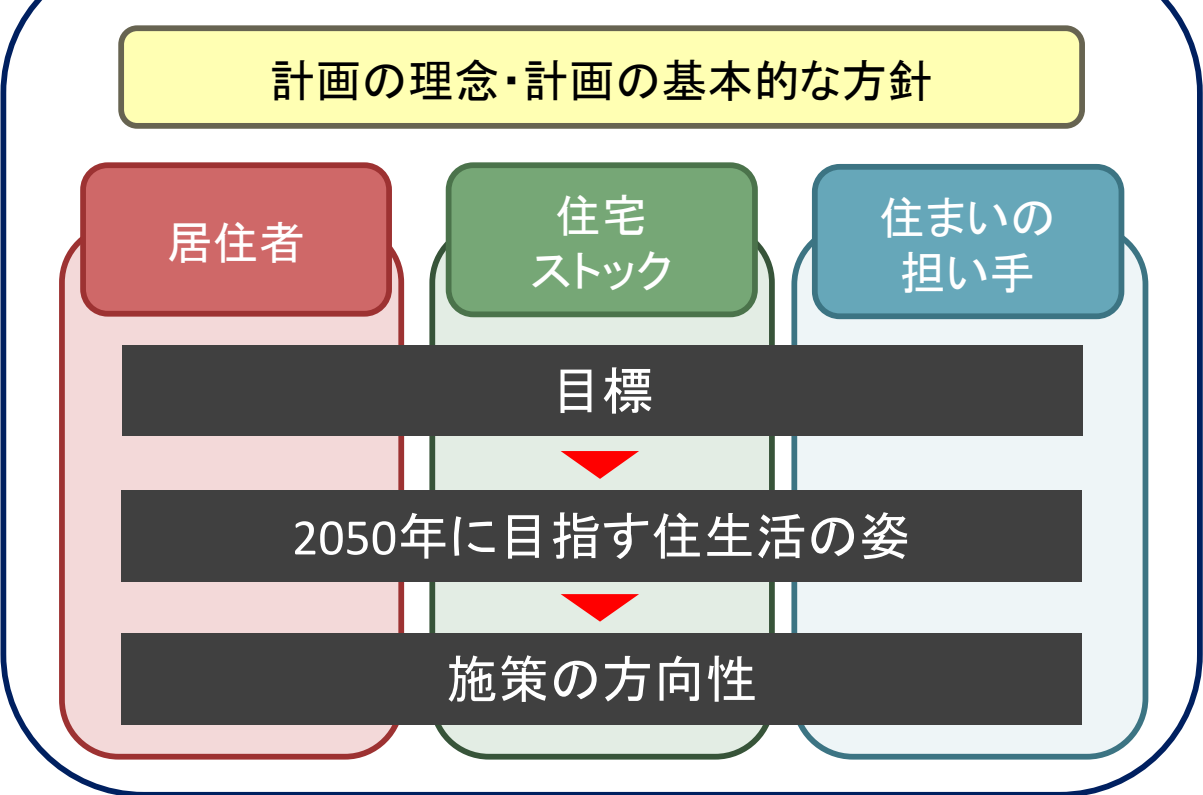
計画の構成について

住生活に関する目標や施策を
「①居住者」の視点
「②住宅ストック」の視点
「③住まいの担い手」の視点
の3つの視点に基づいて分類し
それぞれ

- ・目標
- ・2050年に目指す住生活の姿
- ・施策の方向性

を定める構成とする。

「富山県住まい・まちづくり計画」構成概念図



特に重要と考える取組方策

- ・公共・民間双方における、高齢者世帯、若年・子育て世帯、その他住宅確保要配慮者の住生活を支える環境の整備
- ・新築・改修にかかわらず、良質な住宅ストックの形成と流通、将来世代への継承
- ・既存住宅や既存住宅地の価値を重視し、有効活用につなげる取組み
- ・住まいに関係する様々な主体との連携

「富山県住まい・まちづくり計画」

計画の理念－「安全で心豊かな住まいと 美しいまちを目指して」
計画の基本的な方針－住まい・まちづくりの将来への持続性を重視
他分野との連携、行政・民間事業者の横断的な取り組み

「居住者」の視点

- ①高齢者等が安心して暮らせる住まいの実現
- ②若年・子育て世帯が希望する住まいを確保できる社会の実現
- ③住宅確保要配慮者が安心して暮らせる居住環境・支援体制の整備
- ④住宅確保に関する負担の軽減

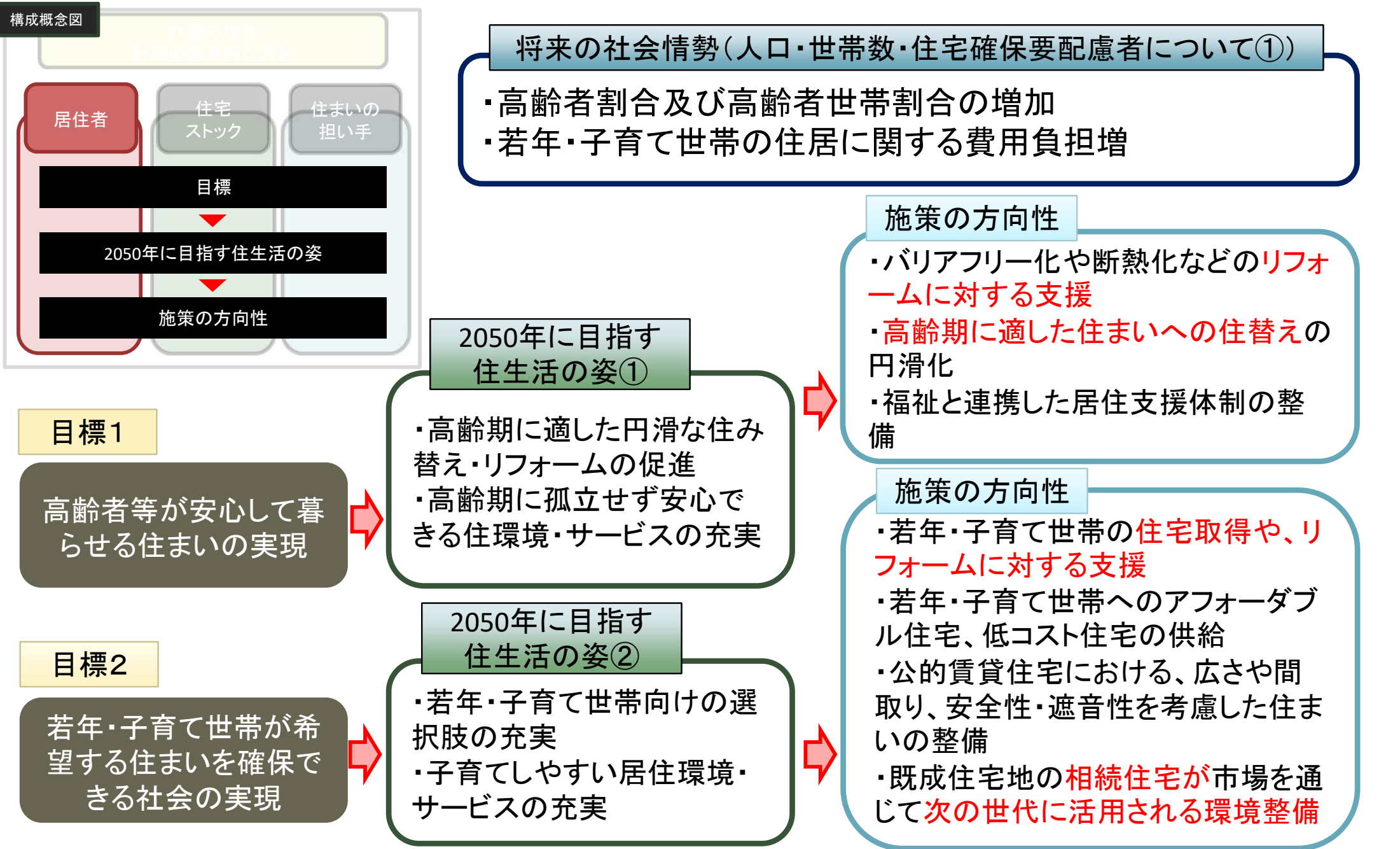
「住宅ストック」の視点

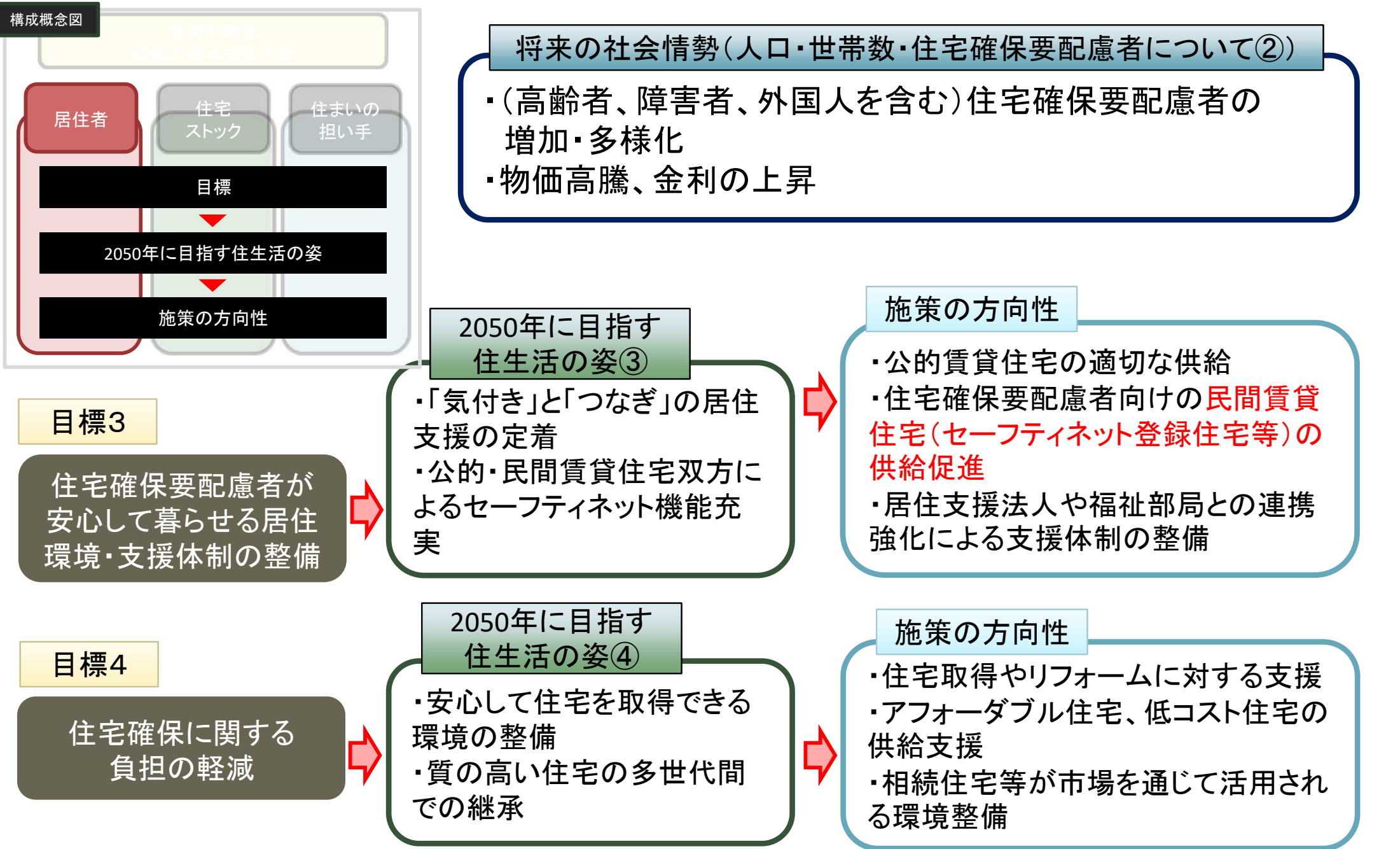
- ⑤多世代にわたり活用される住宅ストックの形成
- ⑥住宅ストックの価値が適正に評価され、循環する市場の構築支援
- ⑦住宅の適正な管理・再生・活用・除却の一体的推進
- ⑧持続可能な住宅地の形成と魅力的なまちの継承
- ⑨災害時に対応した安全な住環境の整備

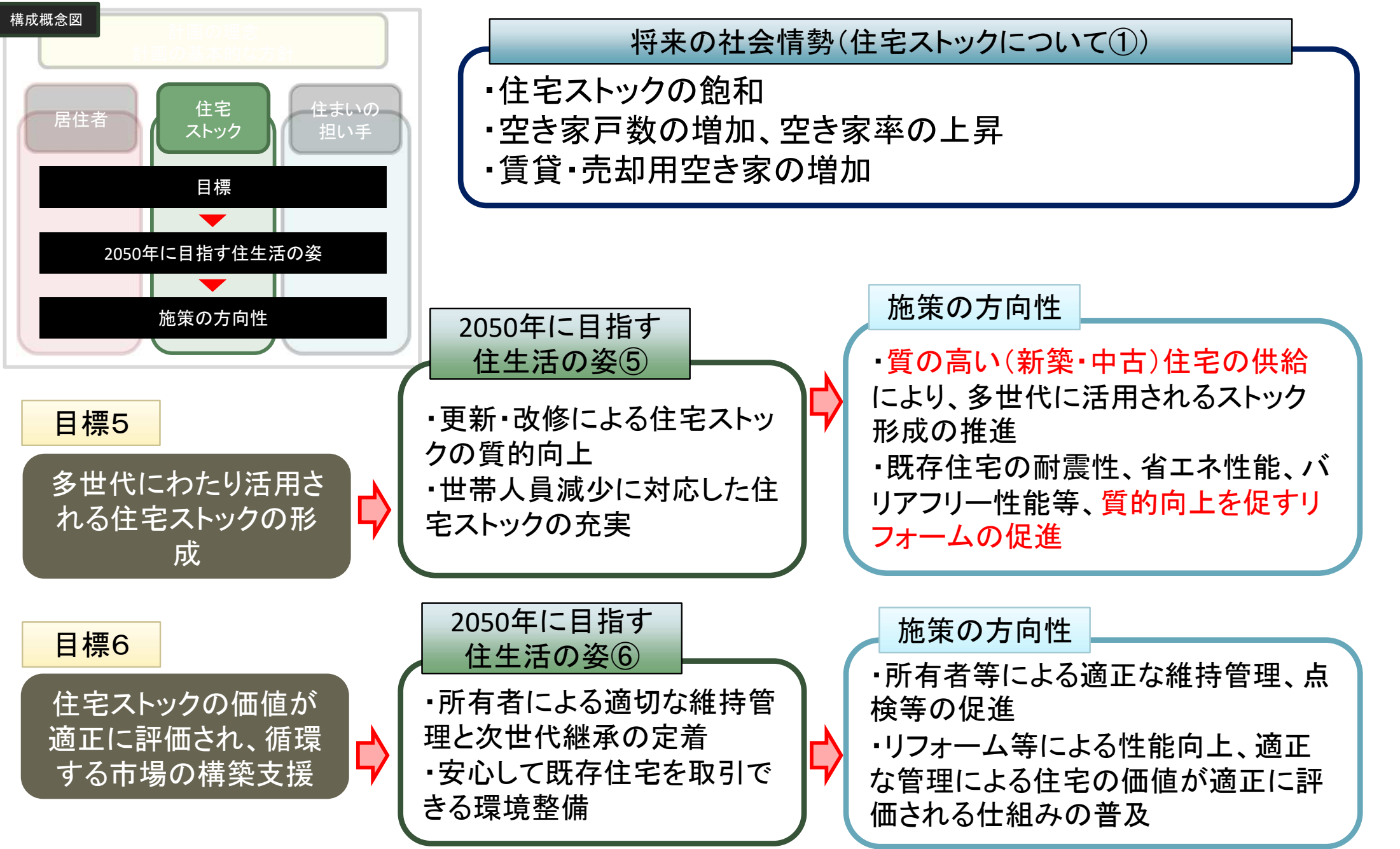
「住まいの担い手」の視点

- ⑩住まいの担い手確保と住生活産業の発展
- ⑪横断的な住宅行政推進と行政の効率化

富山県住まい・まちづくり計画の見直しの方向性について（「居住者」の視点①）







富山県住まい・まちづくり計画の見直しの方向性について（「住宅ストック」の視点②）



将来の社会情勢（住宅ストックについて②）

- ・市場に流通していない未活用空き家の増加
- ・相続空き家増加の懸念
- ・豪雨被害や大規模地震など、自然災害が頻発・激甚化

2050年に目指す
住生活の姿⑦

- ・放置空き家等にしない適正管理の定着
- ・マンションの適正管理、再生円滑化

2050年に目指す
住生活の姿⑧

- ・市場機能を活用し既成住宅地を有効活用
- ・富山県の自然や風土を生かした住環境の保全

2050年に目指す
住生活の姿⑨

- ・災害時の住まい確保・生活再建の迅速化
- ・安全な住宅への改修・住替えの推進

施策の方向性

- ・未活用空き家を活用する取組の推進
- ・空き家予備軍の相談体制の構築
- ・マンションの計画的な維持管理の推進

施策の方向性

- ・交通、既成インフラ、災害リスクを考慮した居住誘導
- ・住宅地の良好なコミュニティ形成に資する地域活動への支援
- ・中山間地等の住環境の保全の取り組みに対する支援

施策の方向性

- ・耐震化等、安全・安心な住まいへの改修や住替えの円滑化支援
- ・災害時の住まいの提供体制の構築
- ・公的賃貸住宅の災害リスクを踏まえた立地適正化

目標7

住宅の適正な管理・再生・活用・除却の一体的推進

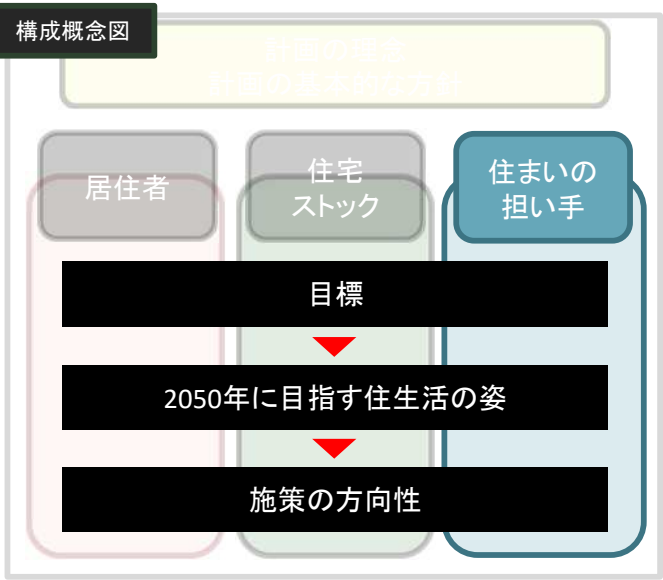
目標8

持続可能な住宅地の形成と魅力的なまちの継承

目標9

災害時に対応した安全な住環境の整備

富山県住まい・まちづくり計画の見直しの方向性について（「住まいの担い手」の視点）



将来の社会情勢（住まいの担い手について）

- ・建設・土木作業従事者等の住まいの担い手の減少
- ・社会情勢の変化に対応した、住まいのニーズの変化・多様化

目標10

住まいの担い手確保と
住生活産業の発展



2050年に目指す
住生活の姿⑩

- ・質の高い住まいの安定的な供給
- ・2050年のカーボンニュートラルの実現



施策の方向性

- ・技能講習の実施による**技能向上の推進**
- ・DXの推進による生産性の向上
- ・GXの推進による住生活産業の発展
- ・富山県の風土に適した住まいの発信

目標11

横断的な住宅行政推進と
行政の効率化



2050年に目指す
住生活の姿⑪

- ・住宅行政実務の効率化
- ・分野横断的な住宅行政の推進



施策の方向性

- ・**居住支援法人**や、**福祉部局**との連携強化
- ・県及び市町村の連携による一体的な施策の推進
- ・**PPP/PFIの積極導入**による公的賃貸住宅供給、余剰地活用の検討
- ・行政のDX化の推進